

## アルネオ ピットケース定期メンテナンスマニュアル

はじめに

この定期点検メンテナンスマニュアルはアルネオリフトを末永く安全にお客様にご使用いただくためにピットケース部分のメンテナンス方法について記載したものです。

以下の点にご留意いただきますようよろしくお願い致します

1. このマニュアルをよく読み、よく理解してからメンテナンスを実施してください。
2. メンテナンスを怠ると、ピットカバーの上昇不良につながる可能性が高いため、かならず定期的なメンテナンスをおこなってください。
3. ピットケース部以外のメンテナンス作業につきましては取扱説明書をご参照ください
4. 運転時に異音発生、作動不良等 普段と異なる状態の時は、リフトの使用を禁止しお買い上げの販売会社に連絡して点検を受けてください。
5. このマニュアルに基づいた動画を弊社ホームページより視聴することができます。

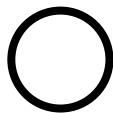
株式会社スギヤス ホームページアドレス <http://www.bishamon.co.jp/>

### 点検時の注意

絵表示の背後に描かれている図記号は次のような意味があります。



してはいけない  
特定の行為



しなくてはいけない  
特定の行為



取扱いの誤りによって発生する  
可能性のある警告・注意

#### 警告



**ピットカバーが上昇してこなかった場合でも、手で引き上げないでください。**

- ※ ピットカバーを昇降させる機構はスプリング式です。  
異物等の噛みこみにより昇降異常が発生した場合、異物が外れるとピットカバーが急上昇します。
- ※ ピットカバーが急に上昇すると、手をはさんで骨折等の怪我をする恐れがあります。
- ※ ピットカバーが上昇してこなかった場合はリフトを一旦最下位まで下降させてから再度リフトを上昇させてください

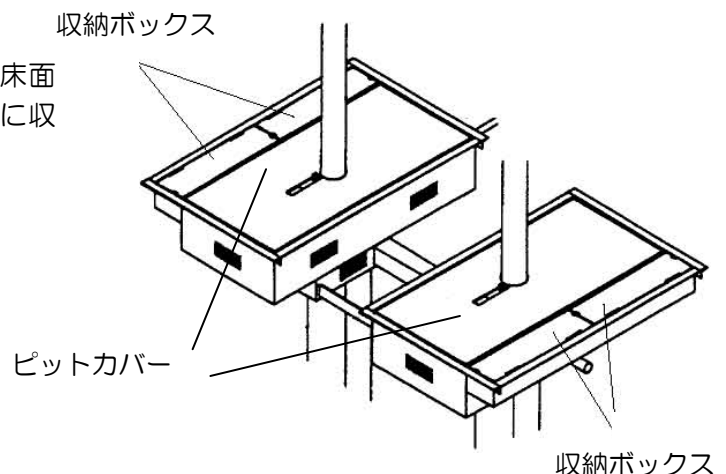
## 1 各装置の機能および使い方

### ■ ピットカバー

受台が上昇するとピットカバーも一緒に上昇し、床面と同一になります。また、受台が下降すると一緒に収納されます。

### ■ 収納ボックス

受台アタッチメントおよびサイドシールブロックを収納します。収納ボックス内に異物が入っていないことを確認してください。



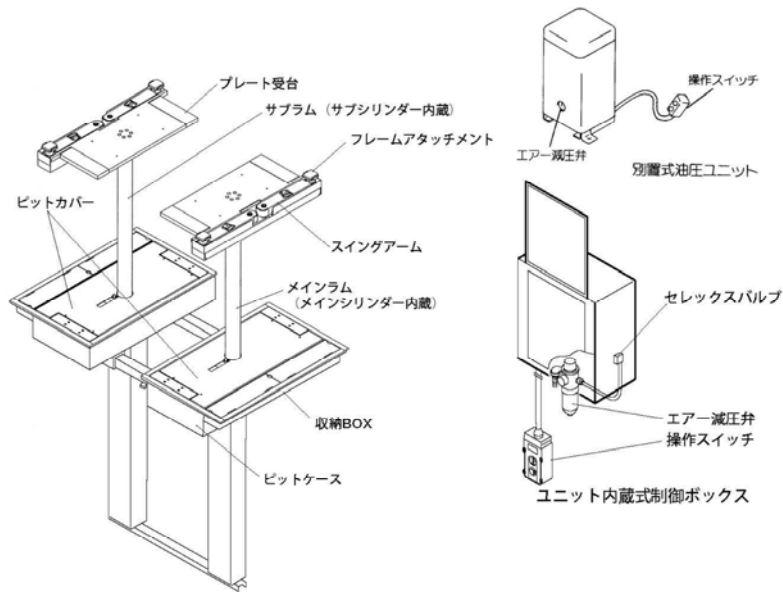
## 警告

ピットカバーが上昇してこなかった場合でも、手で引き上げないでください。

- ※ ピットカバーを昇降させる機構はスプリング式です。  
異物等の噛みこみにより昇降異常が発生した場合、異物が外れるとピットカバーが急上昇します。
- ※ ピットカバーが急に上昇すると、手をはさんで骨折等の怪我をする恐れがあります。
- ※ ピットカバーが上昇してこなかった場合はリフトを一旦最下位まで下降させてから再度リフトを上昇させてください。

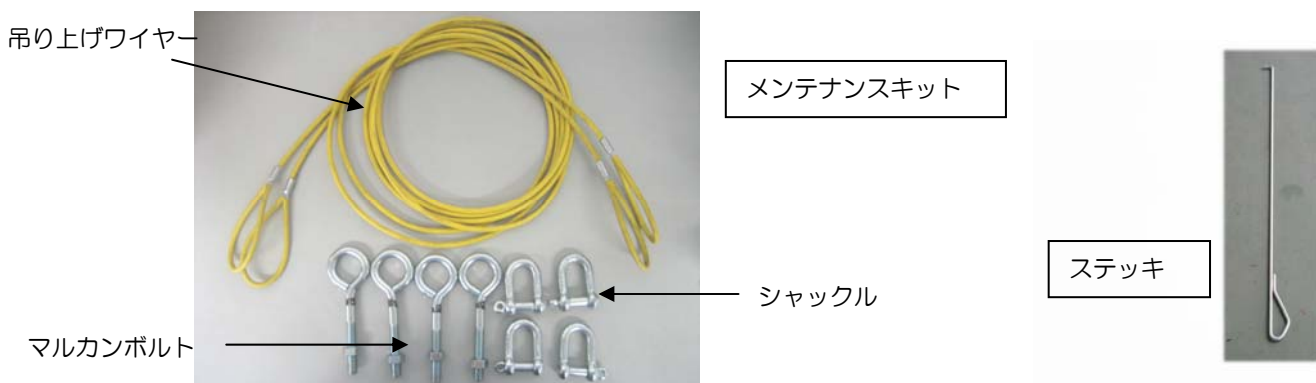
## 2 メンテナンス方法

※ピットカバーの機能維持のために通常使用の場合3ヶ月ごとのメンテナンスを、洗車で使用の場合または床洗いの水がピットケース内の浸入する恐れがある場合は1ヶ月ごとのメンテナンスを実施してください。



### メンテナンスに必要な工具

部品名		数量
メンテナンスキット	吊り上げワイヤー (2500mm)	2
	シャックル	4
	マルカンボルト	4
	ステッキ	1
パーツクリーナー		1
スプレーグリス		1



## 2-1 スイングアームタイプメンテナンス方法



### 警告

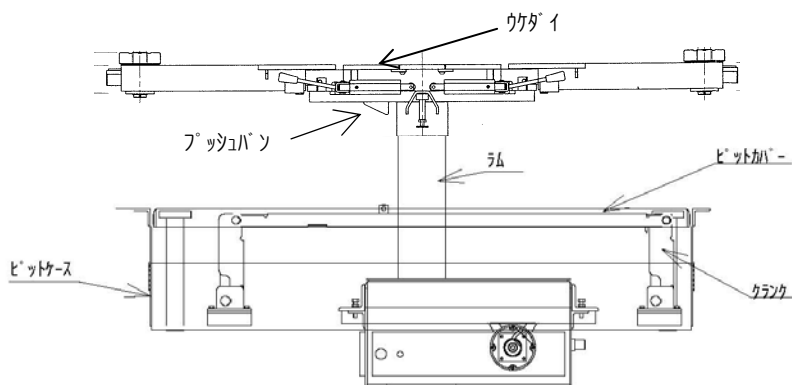
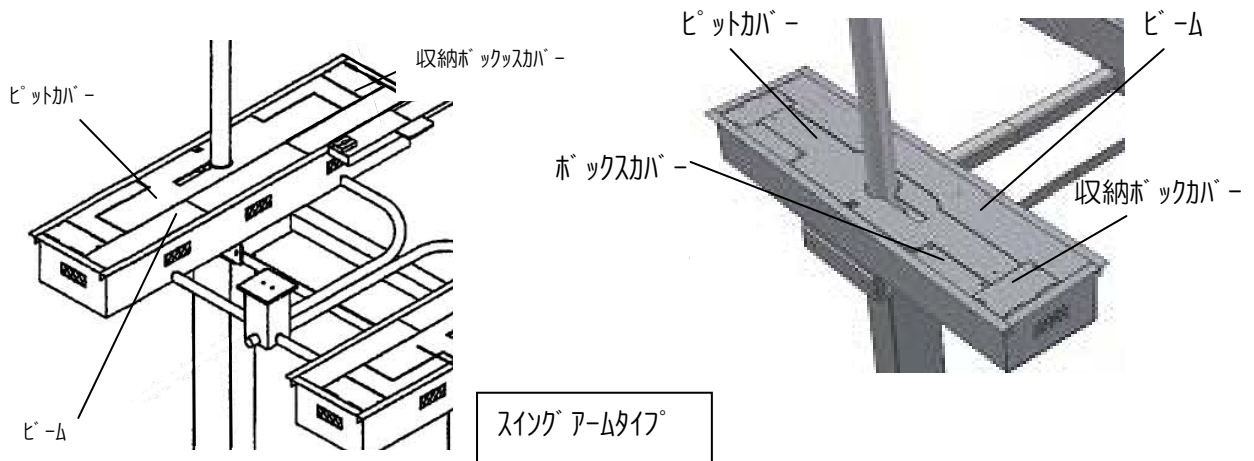
ピットカバーが上昇してこなかった場合でも、手で引き上げないでください。

※ ピットカバーを昇降させる機構はスプリング式です。

異物等の噛みこみにより昇降異常が発生した場合、異物が外れるとピットカバーが急上昇します。

※ ピットカバーが急に上昇すると、手をはさんで骨折等の怪我をする恐れがあります。

※ ピットカバーが上昇してこなかった場合はリフトを一旦最下位まで下降させてから再度リフトを上昇させてください。



### 1. ビームの吊り上げ

- ① リフトを上昇させ、ピットカバーを上限まで上昇させてください。
- ② ボックスカバーを外してください。
- ③ ビームにマルカンボルトを2本組み付けます。
- ④ 内側に回転させたスイングアームに吊り上げワイヤーを巻きつけ（3周ないしは4周）③で取り付けしたマルカンボルトにシャックルを用いて吊り上げワイヤーで吊り上げる準備をします。  
吊り上げワイヤーをスイングアームに巻きつける際、ワイヤーロープ表面にある被覆の破れを防ぐためウエス等で保護してください。
- ⑤ リフトを上昇させビームを吊り上げます。



⑥ リフトを最上昇位置まで上昇させてください。

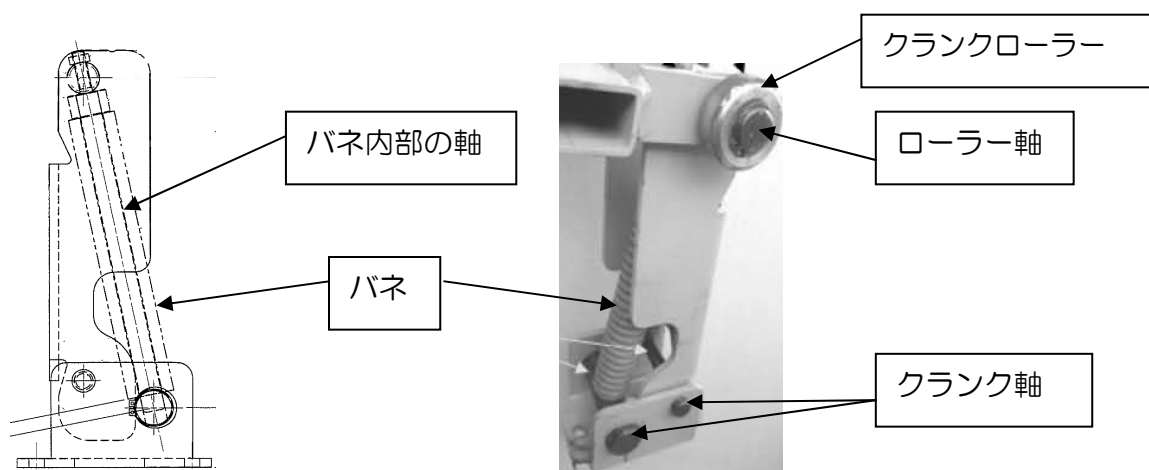


## 注意

吊り上げたビームには十分注意をしてください。

## 2. クランクASの清掃

- ① クランクAS表面の汚れを綺麗に拭き取ってください。
- ② ローラー軸及びクランクローラーの汚れをパーツクリーナーで落とし、クランクローラー及びローラー軸にグリスを塗布してください。
- ③ バネ及びバネ内部の軸の汚れをパーツクリーナーで落とし、スプレーグリスを塗布してください。
- ④ クランク軸の汚れをパーツクリーナーで落とし、摺動部にスプレーグリスを塗布してください。



## 3. 収納ボックスカバー内、ピットケース内の清掃

内部に落ちている部品等を拾ってください。

内部の汚泥、油、水を除去してください。排水口が詰まっている場合は復旧させてください。



## 4. ビームの組み付け

リフトを下降させてビームを降ろしてください。

「1. ビームの吊り上げ」と逆の手順でビームを取り付けてください。

## 5. ピットカバーの作動確認 (清掃後)

リフトを5回昇降 (最下位〜) させ、ピットカバーが正常に作動するか確認してください。

## 2-2 2ウェイタイプ、プレートタイプメンテナンス方法

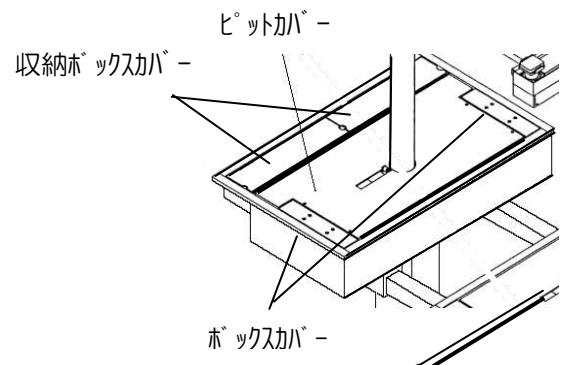
### 警告

ピットカバーが上昇してこなかった場合でも、手で引き上げないでください。

- ※ ピットカバーを昇降させる機構はスプリング式です。  
異物等の噛みこみにより昇降異常が発生した場合、異物が外れるとピットカバーが急上昇します。
- ※ ピットカバーが急に上昇すると、手をはさんで骨折等の怪我をする恐れがあります。
- ※ ピットカバーが上昇してこなかった場合はリフトを一旦最下位まで下降させてから再度リフトを上昇させてください

### 1. ピットカバーの吊り上げ

- ① リフトを約 500mm 上昇させ、ピットカバーを上昇させてください。
- ② ボックスカバーを手で持ち上げて外してください。  
(受台長さ 1300mm 仕様のタイプ)
- ③ ピットカバーにマルカンボルト (4本) を組み付けてください。
- ④ ③で取り付けしたマルカンボルトにシャックルを用いて吊り上げワイヤーで吊り上げる準備をします。  
受台の種類によって吊り上げワイヤーの取り回し方法が異なります。ご注意ください。

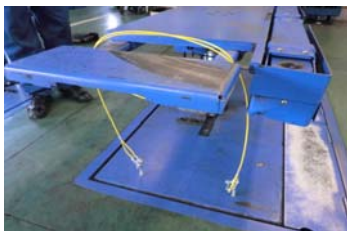


#### ★ スライド式受台の場合

スライド受台をスライドさせスライド部の角パイプに吊り上げワイヤーを巻きつけ(2周)ます。

#### ★ 固定式受台の場合

受台の長手方向に沿って吊り上げワイヤーを回します。



固定式受台の場合



固定式受台の場合

- ⑤ ピットカバーを吊り上げます。  
機種・機体番号により吊り上げ方法が異なります。ご注意ください。

#### ★ 反転防止ウエイトも反転防止レールもないピットカバーの場合

【ボックスカバー付の本体 (受台長さ 1300mm 仕様) 及び機番 0902001 以降の本体】  
作業⑧に進んでください。

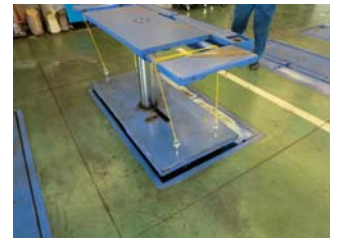


★反転防止レール付きピットカバーの場合（機番 0901096 以前の機体）  
反転防止レールからクランクのローラーを外す必要があります。  
以下⑥⑦の手順でローラーを外す準備をしてください。



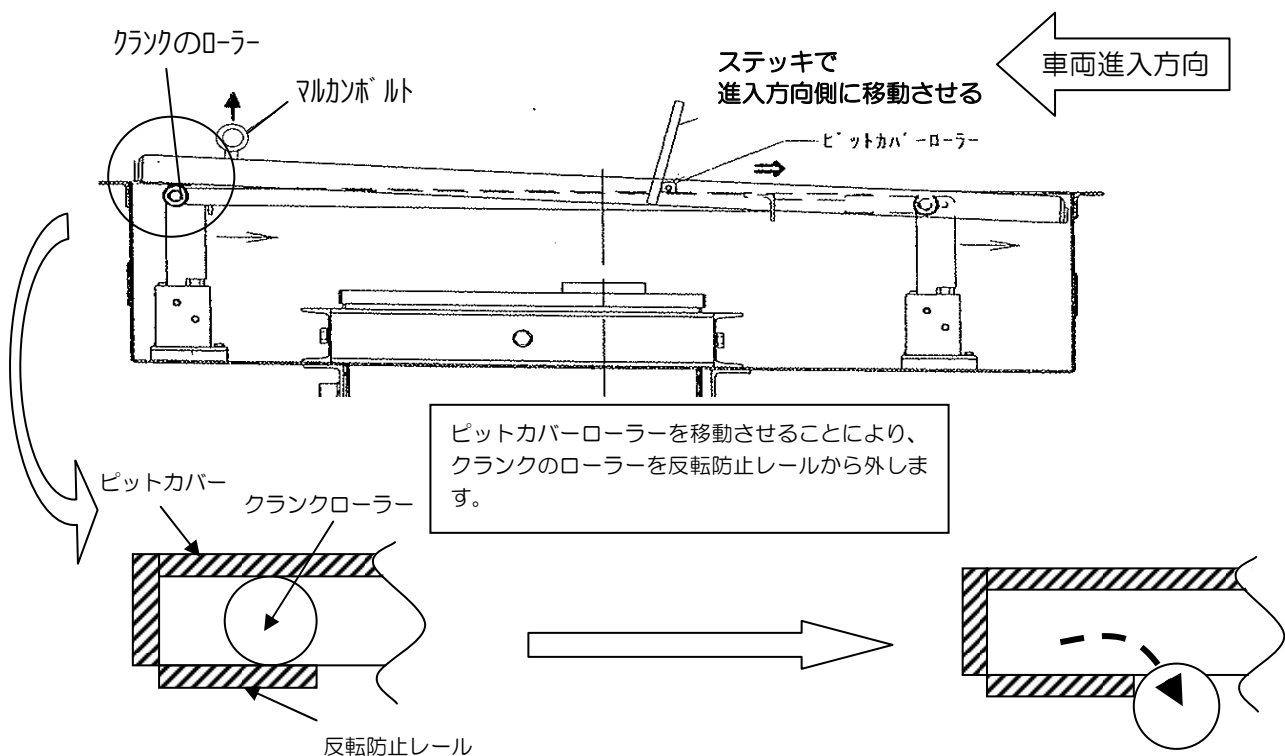
⑥ ステッキを用いて、ピットカバーローラーを矢印の方向（下のイラスト参照）に引張り保持（30mm 上昇するまで）して下さい。  
その後ステッキをローラーから外します。

⑦ リフトを約 150mm 上昇させ停止させます。  
その位置で反転防止レールからクランクのローラーが外れたはずですが、  
そのことを確認した上で次のステップに進んでください。



※ 反転防止レールからクランクのローラーが外れなかった場合は、再度  
作業を行ってください。

ローラーが外れたら作業⑧に進んでください。



⑧ エアーアーム昇降タイプ（スイングアームがエアーにより上昇する仕様）のみ  
（アームなし、手動でアームを昇降させる仕様は作業⑨に進んでください。）

- ・ リフトを最下位より 150mm 程上昇させた位置で  
停止させます。



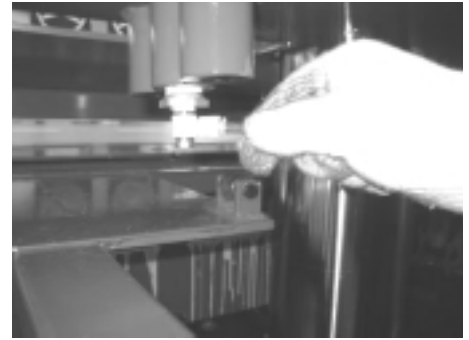
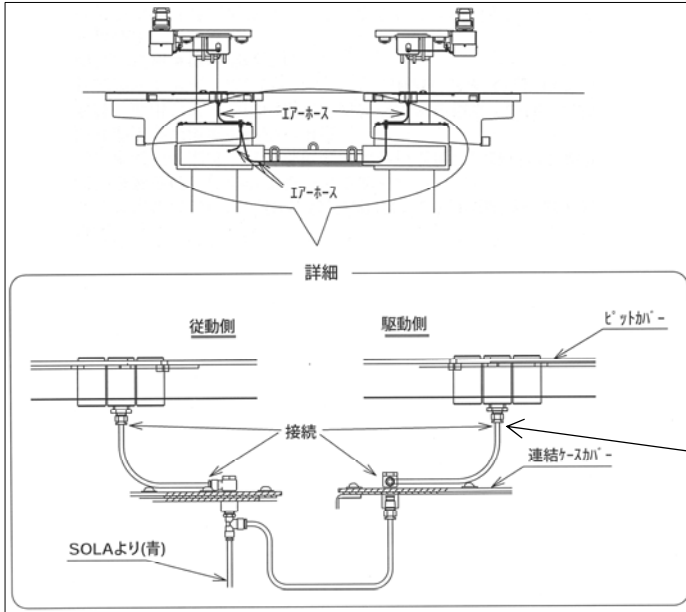
**注意**

吊り上げたピットカバーには十分注意をしてください。



ピットカバーを 150mm 程上昇させます

- ・ 下図を参考にピットカバー裏側のエアースホースをエア継手部より外します。



ピットカバーの下を覗き込み、  
エアースホースを継手から外します

ここから外します

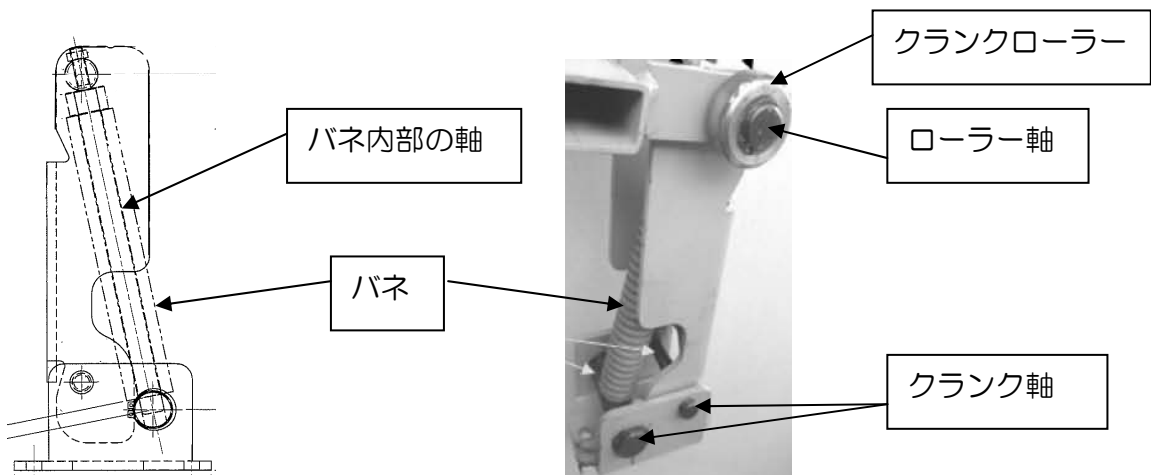
- ⑨ 作業しやすい高さまでリフトを上昇させます。

### ⚠ 注意

吊り上げたピットカバーには十分注意をしてください。

## 2. クランクASの清掃

- ⑤ クランクAS表面の汚れを綺麗に拭き取ってください。
- ⑥ ローラー軸及びクランクローラーの汚れをパーツクリーナーで落とし、クランクローラー及びローラー軸にグリスを塗布してください。
- ⑦ バネ及びバネ内部の軸の汚れをパーツクリーナーで落とし、スプレーグリスを塗布してください。
- ⑧ クランク軸の汚れをパーツクリーナーで落とし、摺動部にスプレーグリスを塗布してください。



### 3. 収納ボックスカバー内、ピットケース内の清掃

内部に落ちた部品等を拾ってください。

内部の汚泥、油、水を除去してください。排水口が詰まっている場合は  
復旧させてください。



### 4. ピットカバーの組み付け

リフトを下降させてピットカバーを降ろしてください。

「1. ピットカバーの吊り上げ」と逆の手順でピットカバーを取り付けてください

### 5. ピットカバーの作動確認（清掃後）

リフトを5回昇降（最下位〜）させ、ピットカバーが正常に作動するか確認してください。

## お問い合わせ

---

株式会社 スギヤス

テクニカルサポートセンター

愛知県高浜市本郷町4丁目3-21

TEL : 0120-82-3010 (フリーダイヤル)

FAX : 0566-53-1844